



📄 キオクシア株式会社 雇用事例紹介



✔️ 川崎地区拠点で障害者雇用を進めたい

当社の京浜地区は技術部門が中心です。障害者雇用を進めるため、まずは総務部門で雇用して、先例事例にしたいと社内で検討が始まりました。障害者雇用に関する知識や経験が不足しているので、企業側の立場で計画の立案～定着支

援までの具体的な流れを、教えていただける支援機関を探していました。

2019年6月、川崎南部就労援助センターに問合せをした際、企業応援センターかわさき（以下応援センター）を紹介いただきました。

🗨️ 仕事の創出が雇用前進の鍵でした

7月から8月にかけて、仕事の洗い出し・創出を行いました。応援センターの担当者が来社され、「今ある業務を並べて、その中からお願いしたい業務を創出すると良いですよ。」というアドバイスをいただきました。併せて、職場環境の確認をしていただきました。

工数で業務抽出をしたことで、新たなポジションをつくること

ができ、一步前進した印象です。他社の雇用事例や障害特性全般の説明をいただいたことにより、障害者雇用の理解を深め、具体的なイメージを膨らませることができました。

また、ハローワーク川崎の雇用指導官からは、障害者雇用に関連する助成金、障害者雇用制度などの説明を受けました。

就労者より

入社前に、職場見学や職場実習に参加し、キオクシア株式会社で就労するイメージを持つことができました。

入社後は、職場の人とコミュニケーションを取りながら、産業医や支援機関のサポートを受けて、安心して就労しております。

入社して半年が経過し、勤務時間を増やすことができました。



❗️ 職場見学・職場実習 地域の支援機関とのつながり

求人票の大枠が、**9月**にできあがり、本格的な採用活動に取り掛かりました。

応援センターから就労援助センターをご紹介いただき、**11月**には川崎市内の就労援助センターの支援者及び就労希望者向けの見学会をそれぞれ実施しました。

12月には、希望者を対象に実習

を行いました。

事前に見学会や実習の一般的な流れを教えていただいたことで、参加者と会社側、双方の理解が進み、マッチングに役立ちました。

採用面接を経て、**翌2020年2月**に実習に参加された応募者1名を採用しました。採用面接時の注意点やポイントも教えていただき、

順調に雇用に至りました。

採用後は、ご本人が不安や不満を溜め込むことや、職場で問題が発生するようなこともなく、必要に応じて、地域の就労支援機関や相談支援機関に相談・連携しながら、業務を進めております。

そこのキオクシアでは、障害者雇用の推進に努めており、その中でも、技術分野での雇用拡大を目指しています。また、地域との連携を強化し、就労支援センターかわさきやハローワーク川崎など、関係機関と連携しながら、障害者雇用の推進に取り組んでいます。具体的には、職場見学や実習の機会を設け、応募者の方々に、当社の業務内容や職場環境について詳しく説明し、理解を深めていただいています。また、必要に応じて、産業医や支援機関のサポートを受けて、安心して就労できるように努めています。



採用担当者様より